

施策の柱2 ● 乳幼児期からの子供の教育支援の取組を地域に定着させるために

若い親が家庭における教育の力をつけるよう地域が一体となって支援するために、地域において乳幼児と親が、孤立しないで気軽に相談できるようなつながり(社会的つながり)をつくるなど、子供と親の「社会的つながり」づくりを地域で促す「支援チーム」*の設置に向けた取組を行っています。

*「支援チーム」：地域の子育て支援団体や子育て経験者、PTA関係者、民生児童委員、青少年委員、社会教育施設や母子保健、子育て支援部署の行政職員等、地域の人材で構成され、子育てに関する情報や学習機会の提供、仲間づくり、身近な相談などを実施する。

○地域における乳幼児と親の社会的つながりを促す試行的取組

地域で、乳幼児の親・保護者が地域の人々とかかわりの中で子供の教育について学べるような「子供と親の『社会的つながり』づくり」の取組を、次のような内容で試行的に実施しています。

- ・支援チームの設置(おおむね中学校区単位での活動)
- ・親・保護者と地域の住民等とのネットワークづくりを促進
- ・乳幼児の親への情報提供、相談、学習機会の提供等を実施

こうした取組は地域によりさまざまな特徴をもって進められるので、平成21年度は、中野・世田谷・稲城の3地区で試行的に活動を進めながら、地域の実状に応じた支援チームのあり方やさまざまな活動プログラムについての検討をしています。

今後、試行的取組の成果を事例集としてまとめる予定です。

中野地区

中野地区では、児童館を拠点とした支援チームの活動を2ヶ所で行っています。

(1) PTAのOB等地域の子育て先輩による支援活動を実施

- ・安心してできる気軽な相談・学習の場の提供
- ・当事者(若い親)自身の主体的なつながりづくり

(2) 若い親自身が主体的につなかりづくりを進める活動を実施

- ・地域に子育て仲間をつくる場の提供や、子育てに関する学習の場の企画、開催をとおして、主体的な仲間づくりを進めると同時に、知り合いのいない親子へのアプローチに取り組む



中野地区における取組
「自主企画のお誕生会(絵本読み聞かせ)」

世田谷地区

世田谷地区では、小学校(子供の居場所活動室)を拠点とした、地域の子育て先輩等による支援チームの活動を行っています。

○学校運営委員、地域PTAのOB等による支援活動により、特に区境に居住していたり、転居してきたばかりなど、地域につながるの少ない若い親への支援を実施

- ・乳幼児期の子供とその親が気軽に参加できる居場所を定期的に提供
- ・幼稚園教諭、栄養士の経験を活かした日常的かつ専門的な相談対応や情報提供



世田谷地区における取組
「マザーリング~東玉川子育てサロン」

稲城地区

稲城地区では、公民館と児童館が併設された「文化センター」を拠点とした、地域住民及び子育てサポーターによる支援チームの活動を行っています。

○公民館職員が活動のコーディネートを行うことにより、中学校、大学、子育て支援所管課等、地域の多様な機関との連携を促進

- ・子育てサポーター(地域の子育て先輩やボランティア)による定期的な居場所提供・相談活動
- ・中学校との連携による親準備教育の実施
- ・子育て支援活動の広報活動(広域イベントの実施)



稲城地区における取組
「子育てサポーターの日」

○地域の「担い手」の養成

地域のネットワークづくりを進める支援チームの核になる人材を養成する研修のカリキュラムを開発し、下記の日程で2講座を実施しました。

A日程(10/22、10/30) B日程(11/9、11/16) 各2日間

この研修には、都内各地域の子育て支援のサークル等で活動している方、民生児童委員、次世代育成委員等行政からの委嘱委員として活動している方、社会教育課や社会教育施設、子育て支援所管課、保育園等行政職員の方などの参加がありました。今後、各地域において、支援チームの設置に取り組んでいただき、地域が一体となって乳幼児期からの子供の教育を支援する仕組みをつくっていくことが期待されます。



「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」に関するお問い合わせは…

東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」

電話 03-5320-6859 FAX 03-5388-1734 E-mail S9000027@section.metro.tokyo.jp